

[illegible]

総合計画／実施計画書 兼 事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局

部局名
課室名

産業経済部
商工観光課

6. 前年度の事業評価					評価に関する視点	
事業の必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。		
理由	この事業は、商店街通りの活性化に結びつくとともに、各町の情報発信拠点として市民が参加することで、幅広い来訪者に対する市民ぐるみの参加意識の醸成を図ることができる。また、市が進める地域資源を活用した観光のまちづくりを推進するうえで大きな役割を担っているため。					
行政との関係	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	2	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。		
理由	この事業の推進にあたっては、平成19年度に豊後大野市まちの駅連絡協議会を発足し、推進母体として位置づけ、まちづくり推進事業を推進することとしている。しかしながら、発足して間もないことから、当分の間は、行政主導で運営を行い、その後は自主運営により事業を行うため。					
手段の妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。		
理由	事業の推進については当分の間は行政主導で行うが、将来は民間事業者で組織された豊後大野市まちの駅連絡協議会を中心に活動を行うこととしているため。					
事業の効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。		
理由	協議会の加盟業者は32事業者となっており、市内での各種イベントにも積極的に参加していただいております、市内外のPRに貢献しているため。					
事業の予算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。		
理由	豊後大野市まちの駅連絡協議会が自主運営できるまでの間、現行と同額程度の予算が必要のため。					
人員体制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。		
理由	兼任業務であり、現状の人員以上の削減が困難なため。					
事業規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。		
理由	この事業は、商店街通りの活性化に結びつくとともに、各町の情報発信拠点として市民が参加することにより、幅広い来訪者に対する目細かい情報やサービスの提供が可能となるため。					
その他、特記事項		事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
部長		課長		班長		担当者
						内線 2411 E-mail @bungo-ohno.jp